

人生儀礼

「人生儀礼」とは、人がこの世に生まれ、一生の間に行う数々の神事儀式の事です。一生には様々な節目があり、神様にこれまでの成長を感謝することで、新たな決意と飛躍につながってまいります。

皆様も、祖先から伝えられた1つ1つの人生儀礼を大切に、感謝の心を持って生活しましょう。

| | |
|----------------|---|
| 安産祈願 | 犬の安産にあやかり、妊娠5ヶ月目の戌の日にお参りし、母体の安全と無事な出産を祈ります。妊婦はこの日から、赤ちゃんが岩のように丈夫に育つよう「岩田帯」を締めます。 |
| 出産祝い | 赤ちゃんの誕生を神様に感謝し、赤飯や誕生直後に炊いたご飯などをお供えします。 |
| お七夜祝い | 誕生7日目に名前をつけ、お祝いします。7日目の夜、命名書を神棚に供え神様に奉告し、親戚や縁者にお披露目をします。 |
| 初宮参り | 赤ちゃんが初めて神社にお参りして、無事な誕生を感謝し、健やかな成長を祈ります。男児は生後31日目、女児は33日目にお参りするのが一般的です。 |
| お食初め | 生後100日頃に、成人と同じ食膳（赤飯・尾頭付きの魚・野菜・吸い物など）を据えて、赤ちゃんに食べる真似をさせ、健康長寿を祈願します。 |
| 初節句 | 生後初めての節句は女児3月3日（桃の節句）、男児5月5日（端午の節句）に行い、末永く幸せに健康であるよう祈ります。 |
| 七五三詣 | 3歳の男女（髪置き）、5歳の男児（袴着）、7歳の女児（帯解き）が晴れ着を着て、家族揃って神社にお参りします。これまでの成長を神様に感謝し、今後更なる発展を祈願します。七五三詣は11月15日と言われておりますが、11月中に参拝されるのが一般的です。 |
| 入学卒業の祝い | 学校への入学、卒業時には神様へ感謝のお参りをし、学業成就を祈ります。 |
| 髪上祝 (女子13歳) | 13歳は自分の干支を初めて迎える歳まわりで、身も心も大人の女性へと成長する年齢です。古来13歳には神社でかんざしを髪にあて、初めて帯を腰に結ぶ儀式を行っておりました。大和撫子（やまとなでしこ）らしい、心清らかな女性に成長するよう祈願します。 |
| 元服祝 (男子15歳) | かつて武士の子息は、元服を迎えると神社で武運長久を祈りました。元服とは、一人前の男性として責任と義務を負い、社会の仲間入りをする年齢の意味で、強い身体と精神力を持った大人に成長するよう祈る人生儀礼です。 |
| 成人式 | 満20歳に、無事大人の仲間入りできたことを感謝し、社会人としての自覚をもつことを誓います。 |
| 結婚式 | 神様のおはからい（御神縁）で結ばれた二人が、御神前で苦楽をともにし、明るい家庭を築くことを誓い、子孫の繁栄を祈ります。 |
| 結婚記念日 | 夫婦が仲良く過ごした日々感謝し、今後も末永く平穏で幸せな生活が送れるよう、神社にお参りします。 |
| 厄除(厄祓) | 男性25・42・61歳、女性19・33・37歳は厄年と言ひ、身体的にも社会的にも転換期といわれています。この年とその前後の年（前厄・後厄）には神社にお参りし、災厄を除けるために厄除（厄祓）をします。 |
| 身祝い (賀の祝い) | 還暦（61歳）、古希（70歳）、喜寿（77歳）、傘寿（80歳）、半寿（81歳）、米寿（88歳）、卒寿（90歳）、白寿（99歳）、上寿（100歳）などの節目には、神社にお参りし家族揃って長寿をお祝いします。 |